

## 製品安全データシート

### 1. 化学物質等および会社情報

製品名 : ポリコールジェットスペシャル  
製品コード : PJS-132  
整理番号 : SG043116  
会社 : サンハヤト株式会社  
住所 : 東京都豊島区南大塚3丁目40番1号  
担当部門 : 本社 営業部  
電話番号 : 03-3984-7791  
FAX : 03-3971-0535  
用途 : 接点復活剤  
作成日 : 1997年03月17日  
改訂日 : 2009年07月01日 REV. 1.20

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 可燃性/引火性エアゾール 区分1  
引火性液体 区分1  
皮膚腐食性/刺激性 区分3  
眼損傷性/眼刺激性 区分2 A - 2 B  
標的臓器/全身毒性(単回暴露) 区分3(麻醉性)  
標的臓器/全身毒性(反復暴露) 区分1(神経系)  
吸引性呼吸器有害性 区分1

ラベル要素  
絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険  
危険有害性情報 : 極めて可燃性・引火性の高いエアゾール  
極めて引火性の高い液体及び蒸気  
軽度の皮膚刺激  
強い眼刺激  
眠気またはめまいのおそれ  
長期または反復暴露による臓器(神経系)の障害  
飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ  
注意書き : 使用前に取扱説明書を入手してください。  
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。  
裸火または高温の白熱体に噴霧しないでください。  
熱、火花、裸火、高温のもののような着火から遠ざけてください。 - 禁煙。  
保護手袋および保護眼鏡、保護面を着用してください。  
必要に応じて個人用保護具を使用してください。  
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用してください。  
静電気放電に対する予防措置を講じてください。  
屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。  
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないでください。  
この製品を使用する時に、飲食またな喫煙をしないでください。  
取扱い後は良く手を洗ってください。

国地域情報 :

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物エアゾール製品

化学名	シリコン	A-1`ン`ン`ン`	HCFC-225ca	HCFC-225cb
含有量 (wt%)	10 ~ 20	10 ~ 20	10 ~ 20	
官報公示整理番号	-	-	2-3586	2-3587
CAS No.	-	-	422-56-0	507-55-1
EINECS	-	-	207-016-9	208-076-9
輸出統計品目番号	-	-	2903.49.170	2903.49.170
IMDG	-	3.1	-	-
国連分類	-	3	-	-
国連番号	-	1268	-	-
PRTR 法	非該当	非該当	1-185 (改正前: 1-144)	

化学名	乳化剤	二酸化ケイ素	添加物	ジメチルエーテル <噴射剤>
含有量 (wt%)	1 ~ 10	<1.0	<1.0	40 ~ 50
官報公示整理番号	-	1-548	-	2-360
CAS No.	-	7631-86-9	-	115-10-6
EINECS	-	231-545-4	-	204-065-8
輸出統計品目番号	-	2811.22.000	-	2909.19.000
IMDG	-	-	-	2.1
国連分類	-	-	-	2.1
国連番号	-	-	-	1033
PRTR 法	非該当	非該当	非該当	非該当

### 4. 応急処置

- 目に入った場合 : 直ちに清浄な水で最低15分以上洗浄する。コンタクトレンズを使用している場合は固着していない限り、取り除いて洗浄する。洗浄後、医師の手当を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染衣服は直ちに脱ぎ、多量の流水で触れた部分を十分に洗い流す。必要に応じ医師の手当を受ける。
- 吸引した場合 : 直ちに空気の新鮮な場所に移し安静に努め、速やかに医師の手当を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに水で口の中をよく洗浄させる。無理に吐かせず、速やかに医師の手当を受ける。
- その他 : 暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の手当を受ける。

## 5 . 火災時の処置

- 消 火 剤 : 粉末、二酸化炭素、乾燥砂、泡等  
使ってはならない消火剤 : 棒状水  
特有の危険有害性 : 引火性の高い液体。蒸気を吸入すると麻酔薬として働き、繰り返してさらされた場合、粘膜への刺激、めまい、感覚鈍麻、頭痛などを起こす。  
特有の消火方法 : 初期消火には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火器などを用いて空気を遮断することが有効である。周辺火災の場合には速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場所は、容器及び周辺に散水し冷却する。  
消火を行う者の保護 : 消火作業は風上から行い、必ず保護具を着用する。

## 6 . 漏出時の処置

作業の際は保護具を着用し、漏洩した液が皮膚に付着したり、蒸気を吸入したりしないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。付近の着火源を取り除く。関係者以外の立ち入りを禁止する。少量漏出の場合は、乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸収させて、密閉できる空容器に回収する。大量漏出の場合は、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。漏出液を下水や側溝等に流してはならない。

## 7 . 取扱いおよび保管上の注意

- 取 扱 い : 火気、衝撃火花などによる着火源を生じないように注意する。吸入を防ぎ、眼、皮膚との接触を避ける。必要に応じて保護具を着用し、換気の良い場所で風上から作業する。密閉された装置、機械、または局所排気装置を使用する。  
保 管 : 容器を密閉し、換気の良い冷暗所に施錠して保管する。  
安全な容器包装材料 : 国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

## 8 . 暴露防止および保護処置 (A-ベンゼンの情報を記載)

- 管 理 濃 度 : 設定されていない  
許 容 濃 度 : 日本産業衛生学会 100ppm  
ACGIH TLV 300ppm  
設 備 対 策 : 室内での取扱いの場合は発生源の密閉化または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くには安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設けその位置を明確に表示する。  
保 護 具 : 有機ガス用防毒マスク、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用する。

## 9 . 物理的および化学的性質

外 観 等	:	乳白色液体
臭	い	特異臭
pH	:	情報なし
融 点	:	情報なし
沸 点	:	情報なし
引 火 点	:	0 以下 (A-ハ`ンジ`ンの情報を記載)
爆 発 限 界	:	情報なし
蒸 気 圧	:	情報なし
蒸 気 密 度	:	情報なし
比 重	:	1.040~1.050 (20 )
溶 解 度	:	水 ; 不溶 その他 ; 種々の有機溶剤と自由に混合
n-オクタノール/水分配係数	:	情報なし
自然発火温度	:	情報なし
分 解 温 度	:	情報なし

## 10 . 安定性および反応性

安 定 性	:	通常状態では安定である。
反 応 性	:	アルカリ金属と反応する場合がある。強酸化剤と反応する。
避 け る べ き 条 件	:	高温、酸化剤
混 触 危 険 物 質	:	強酸化剤、アルカリ金属
危 険 有 害 な 分 解 生 成 物	:	一酸化炭素、塩化水素、ホスゲン等

## 11 . 有害性情報

急 性 毒 性	:	経口ラット LD <sub>50</sub> 情報なし (シリコンの情報を記載) 経口ラット LD <sub>50</sub> >5,000mg/kg (A-ハ`ンジ`ンの情報を記載) 経口ラット LD <sub>50</sub> >5,000mg/kg (HCFC-225caの情報を記載) 経口ラット LD <sub>50</sub> >5,000mg/kg (HCFC-225cbの情報を記載) 経口ラット LD <sub>50</sub> 情報なし (乳化剤の情報を記載) 経口ラット LD <sub>50</sub> >10,000mg/kg (二酸化ケイ素の情報を記載) 吸入ラット LC <sub>50</sub> 308g/m <sup>3</sup> (ジ`メチ`ル`エ`ルの情報を記載)
皮 膚 刺 激 性	:	ヒトで皮膚に影響を及ぼすが、除去すると回復するとの報告がある。 (A-ハ`ンジ`ンの情報を記載)
刺 激 性 ( 眼 )	:	ヒトで眼への刺激性、ウサギで軽度の刺激性の報告がある。 (A-ハ`ンジ`ンの情報を記載)
感 作 性	:	情報なし
生 殖 細 胞 変 異 原 性	:	情報なし
発 がん 性	:	情報なし
生 殖 毒 性	:	情報なし
特 定 標 的 毒 性 / 全 身 毒 性 ( 単 回 暴 露 )	:	ヒトで麻酔作用の報告がある。(A-ハ`ンジ`ンの情報を記載)
特 定 標 的 毒 性 / 全 身 毒 性 ( 反 復 暴 露 )	:	ヒトで多発性神経障害の報告がある。(A-ハ`ンジ`ンの情報を記載)
呼 吸 性 呼 吸 器 有 害 性	:	炭化水素である。(A-ハ`ンジ`ンの情報を記載)

## 1 2 . 環境影響情報

魚 毒 性 : 情報なし  
分 解 性 : 情報なし  
蓄 積 性 : 情報なし  
オゾン層破壊係数 : 0.025 (CFC-11=1) (HCFC-225ca の情報を記載)  
0.033 (CFC-11=1) (HCFC-225cb の情報を記載)  
地球温暖化係数 : 180 (CO<sub>2</sub>=1) (HCFC-225caの情報を記載)  
620 (CO<sub>2</sub>=1) (HCFC-225cbの情報を記載)

## 1 3 . 廃棄上の注意

容器内の原液成分をすべて使いきり、火気のない屋外でガスを完全に抜いてから廃棄する。内容物や容器を指定廃棄物処理業者に産業廃棄物として委託する。

## 1 4 . 輸送上の注意

国 連 分 類 : クラス 2.1  
国 連 番 号 : 1950  
陸 上 輸 送 : 消防法、労働安全衛生法等の定めるところに従うこと。  
海 上 輸 送 : 船舶安全法の定めるところに従うこと。  
航 空 輸 送 : 航空法の定めるところに従うこと。

## 1 5 . 適用法令

消 防 法 : 危険物第4類第1石油類  
P R T R 法 : 該当 1-185 (改正前: 1-144)  
(なお、PRTR 届出のための排出・移動量の把握は平成22年4月からの開始であり、平成21年度分の届出は政令改正前の第一種指定化学物質、号番号に基づき行なう必要があります。)  
労 働 安 全 衛 生 法 : 施行令第18条の2 名称等を通知すべき有害物  
令別表第1 危険物 (引火性の物、可燃性のガス)  
有機溶剤中毒予防規則 : 該当  
船 舶 安 全 法 : <原液成分> 危規則第3条危険物 引火性液体類  
<噴射剤> 危規則第3条危険物 高压ガス  
航 空 法 : <原液成分> 施行規則第194条危険物 引火性液体  
<噴射剤> 施行規則第194条危険物 高压ガス  
港 則 法 : <原液成分> 施行規則第12条危険物 引火性液体類  
<噴射剤> 施行規則第12条危険物 高压ガス  
輸 出 貿 易 管 理 令 : 該当

## 1 6 . その他の情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

また、注意事項は、通常の手扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施のうえ、ご利用ください。

記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。